

# 事務事業評価シート

事務事業コード	019800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	若者による地方創生政策推進事業		所属名	企画推進部 政策企画課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	直営
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	若者による地方創生政策推進事業費		予算事業コード	01-02-01-07-01-47	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市の地方創生の取組
意図 (どのような状態 にするために)	若者・女性の視点・意見を反映
手段 (どうするのか)	「とっとり若者地方創生会議」において、地方創生の中心課題である若者の移住・定住やまちのにぎわいづくりに必要となる施策について、調査研究し、会議の活動を展開する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	とっとり若者地方創生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創生会議開催 成果発表会	とっとり若者地方創生会議開催 成果発表会	
年度別実績	とっとり若者地方創生会議(18回) 成果発表会(市政提言、次年度取組の提案)	とっとり若者地方創生会議(22回) 成果発表会(市政提言、次年度取組の提案)	とっとり若者地方創生会議(26回) 成果発表会(市政提言、次年度取組の提案)	とっとり若者地方創生会議(31回) 成果発表会(市政提言、次年度取組の提案)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,432	2,681	2,689	2,848	0	
	直接経費 A	266	485	516	691	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	75	164	171	185	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	191	321	345	506	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	とっとり若者地方創生会議の開催	回	目標	12	12	12	12	12
				実績	18	22	26	31
2	企画イベントの開催	回	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	3	3	2
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 企画調整係 0857-30-8012</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P34（企004）</p> <p>【事業の概要】 本市の地方創生の中心課題である「若者の移住・定住の促進」を基本テーマとし、会議での調査研究やイベントの実施などの活動を展開する。活動を通じて得た内容を、次年度の活動方針・市への提言として、成果発表会で提案・提言する。</p> <p>【事業の成果】 ○平成30年度 ・とっとり若者地方創生会議 26回開催 ・鳥取大学・公立鳥取環境大学 学生へのアンケート実施 ・地元企業見学会（イベント）「企業まる見え！見学隊」の開催（2回） ・地域と大学生をつなぐハンドブックの作成 ○令和元年度 ・とっとり若者地方創生会議 31回開催 ・「就職大討論会」の開催 ・「イドバタ」（学生交流イベント）の開催 ・「とっとり旬を味わうカレンダー」の作成</p> <p>【今後の課題・方向性】 前年度の活動の成果や課題を踏まえ、庁内各課・関係団体と協力した取組を進める。会議での取組を継承していくために、継続・新規メンバーのバランスのとれた会議の構成が求められる。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	とっとり若者地方創生会議の開催	150%	183%	217%	258%	
	2	企画イベントの開催	100%	300%	300%	200%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	会議、企画イベントの開催ともに計画を上回った。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	企画イベント以外でも、「とっとり旬を味わうカレンダー」の作成など、積極的な取組を行った。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>若者の主体性を大切にし、庁内各課・関係団体と協力した取組を進める。会議での取組を継承していくために、継続・新規メンバーのバランスのとれた会議の構成が求められる。様々な意見を取り入れるため、メンバー構成が大学生に偏ることなく、社会人も加えていきたい。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	019900	重点施策	ひとづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	コミュニティ支援事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の まちづくり	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成20年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市自治基本条例、鳥取市地域コミュニティ育成支援事業交付金交付要綱
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 施策の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名	コミュニティ支援事業費		予算事業コード	01-02-01-11-06-10	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	まちづくり協議会
意図 (どのような状態にするために)	まちづくり協議会の運営、活動等を支援するため
手段 (どうするのか)	各補助金の交付などとする

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 まちづくり協議会の運営支援 まちづくり協議会への地域コミュニティ計画に基づく事業の実施支援	平成29年度 まちづくり協議会の運営支援 まちづくり協議会への地域コミュニティ計画に基づく事業の実施支援	平成30年度 まちづくり協議会の運営支援 まちづくり協議会への地域コミュニティ計画に基づく事業の実施支援	令和元年度 まちづくり協議会の運営支援 まちづくり協議会への地域コミュニティ計画に基づく事業の実施支援	令和2年度 まちづくり協議会の運営支援 まちづくり協議会への地域コミュニティ計画に基づく事業の実施支援	
	年度別実績	運営助成 60件 事業支援 58件	運営助成 61件 事業支援 60件	運営助成 61件 事業支援 61件	運営助成 61件 (うち3件は地域組織支援モデル事業) 事業支援 61件 (うち3件は地域組織支援モデル事業)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	31,762	32,013	32,367	32,631	0	
	直接経費 A	26,709	26,890	27,297	27,598	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	6,648	8,007	7,961	7,464	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	20,061	18,883	19,336	20,134	0		
人件費 B	5,053	5,123	5,070	5,033	0		
職員数の内訳	正規職員	0.70	0.70	0.70	0.70	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		[KPI] 協働事業件数	件	目標	151	159	167	175	175	
				実績	141	143	145	146	0	
	(指標の説明) 基準値は平成25年度実績。									
	2	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		[KPI] まちづくり協議会事業推進に係る研修参加者	人	目標	113	125	138	150	150	
				実績	119	144	158	110	0	
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績									
	3	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
協働のまちづくり支援事業及び協働のまちづくり特別支援事業の申請数		地区	目標	61	61	61	61	61		
			実績	58	60	61	61	0		
(指標の説明) 基準値は平成27年度実績										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P47（地011）</p> <p>【事業の概要】 (1) 人的支援 ①コミュニティ支援チームによる地域コミュニティの充実・強化 ②「まちづくり協議会」の組織化に伴う嘱託職員の増員 (2) 財政的支援（地域コミュニティ育成支援事業による財政支援） 平成29年度 平成30年度 令和元年度 ①まちづくり協議会運営助成事業 3,050千円 3,050千円 2,889千円 （補助率10/10 補助限度額 5万円） (61地区) (61地区) (58地区) ②協働のまちづくり助成事業 22,896千円 23,218千円 21,810千円 （補助率 4/5 補助限度額40万円） (59地区) (60地区) (56地区) ③協働のまちづくり特別支援事業 800千円 800千円 1,162千円 （補助率10/10 補助限度額80万円） (1地区) (1地区) (2地区) ④地域組織モデル支援事業（生涯学習・スポーツ課除く） 1,583千円 （補助率10/10 限度額101万～103.2万） (3地区)</p> <p>【事業の成果】 現在、市内全61地区において「まちづくり協議会」が設立され、地域コミュニティ計画に基づく地域の課題解決に向けた取り組みが進められている。</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市の制度や支援のあり方が、より地域の実情に即したものとなり、市民と行政との協働のまちづくりが前進するよう、今後も継続して取り組む。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	[KPI] 協働事業件数	93%	90%	87%	83%	
	2	[KPI] まちづくり協議会事業推進に係る研修参加者	105%	115%	114%	73%	
	3	協働のまちづくり支援事業及び協働のまちづくり特別支援事業の申請数	95%	98%	100%	100%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>まちづくり協議会研修会の開催が1回だったため。(例年は2回開催)研修会参加者は減少したが、モデル事業に関する個別の意見交換会を実施し、13地区、123人が参加した。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>地域とともに、地域の事情や特性に合わせた制度や支援のあり方を模索していき、市民と行政との協働のまちづくりが前進するよう、今後も継続して取り組む。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画		
事務事業名	鳥取市自治連合会補助事業		所属名	市民生活部 協働推進課		

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成13年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、根拠計画等	公益活動団体補助金交付要綱
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名	鳥取市自治連合会補助金		予算事業コード	01-02-01-11-06-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市自治連合会
意図 (どのような状態にするために)	住民自治の基本である自治会(町内会)の強化・育成
手段 (どうするのか)	鳥取市自治連合会の活動を支援するとともに、単位自治会に活動助成を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 鳥取市自治連合会の活動支援	平成29年度 鳥取市自治連合会の活動支援	平成30年度 鳥取市自治連合会の活動支援	令和元年度 鳥取市自治連合会の活動支援	令和2年度 鳥取市自治連合会の活動支援	
	年度別実績	鳥取市自治連合会の活動支援	鳥取市自治連合会の活動支援	鳥取市自治連合会の活動支援	鳥取市自治連合会の活動支援		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	72,346	73,083	73,087	72,871	0	
	直接経費 A	70,180	70,887	70,914	70,714	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	2,128	2,080	1,987	1,980	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	1,802	1,729	428	349	0
	一般財源	66,250	67,078	68,499	68,385	0	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	加入世帯数	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
					実績	53100	53100	53100	53100	53100	53100	
	(指標の説明) 基準値は平成27年度実績											
	2				目標	0	0	0	0	0	0	
					実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)											
3				目標	0	0	0	0	0	0		
				実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)												

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-30-8177</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P46（地009）</p> <p>【事業の概要】 補助金名：鳥取市自治連合会交付金 目的：住民自治の基本である自治会（町内会）の活動を財政的に支援し自治組織の強化・育成を図る。 内容：補助金による鳥取市自治連合会及び単位自治会の活動助成 補助対象者：鳥取市自治連合会</p> <p>【事業の成果】 住民自治の基本である鳥取市自治連合会の活動を支援することにより、市政運営を円滑に進める。 平成30年9月に、市自治連合会、公益社団法人鳥取県宅地建物取引業協会、本市の3者が自治会への加入促進に関する協定を締結した。 平成29年度 活動助成金65,960千円（833町内会、52,460世帯） 運営助成金 4,030千円（全自連東大阪大会等参加、及び事務局運営費） 加入促進対策助成金 897千円（推進員2名、チラシ等事務費） 平成30年度 活動助成金65,917千円（833町内会、52,516世帯） 運営助成金 4,100千円（全自連東京大会等参加、及び事務局運営費） 加入促進対策助成金 897千円（推進員2名、チラシ等事務費） 令和元年度 活動助成金65,573千円（831町内会、52,125世帯） 運営助成金 5,141千円（全自連宮崎大会等参加、及び事務局運営費）</p> <p>【今後の課題・方向性】 未加入者への加入促進及び自治組織がない地域への町内会等設立促進をより一層図る。 ※その他財源の繰入金は、地域振興基金繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	加入世帯数	99%	99%	99%	98%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>自治会への加入率は年々減少しているが、人口減少や少子高齢化が進展する中、地域コミュニティの重要性はますます増加している。鳥取市自治連合会と連携した加入促進対策をさらに推進する。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020100	重点施策	まちづくり	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	自治会活動活性化支援事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市補助金等交付規則、鳥取市地域コミュニティ育成支援事業交付金交付要綱
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名	自治会活動活性化支援事業費			予算事業コード	01-02-01-11-06-08

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	町内会
意図 (どのような状態にするために)	地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現を目指す。
手段 (どうするのか)	住民の自主性及び主体性に基づいた、町内会等による地域活動(運動会等のスポーツ活動、伝統行事等の文化活動、町内案内板等の町内会が所有・管理する設備の整備など)を支援する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	各自治会のコミュニティ活動への助成	各自治会のコミュニティ活動への助成	各自治会のコミュニティ活動への助成	各自治会のコミュニティ活動への助成	各自治会のコミュニティ活動への助成	
	年度別実績	506町内会	504町内会	504町内会	501町内会		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	16,975	16,834	16,883	16,754	0	
	直接経費 A	14,809	14,638	14,710	14,597	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	14,809	14,638	14,710	14,597	0		
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	[KPI] 支援事業数	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
			実績	487	498	509	520	520			
	2	(指標の説明) 町内会等による地域活動を支援(補助金交付)した件数。基準値は平成26年度実績。	目標	0	0	0	0	0			
			実績	0	0	0	0	0			
	3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0			
			実績	0	0	0	0	0			

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】コミュニティ支援係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P46（地010）</p> <p>【事業の概要】 補助金名：地域コミュニティ育成支援事業（コミュニティ活動支援事業） 目的：住民の自主性及び主体性に基づいた町内会等による地域活動を支援することにより、地域コミュニティの充実・強化を図り、住民と行政との協働のまちづくりの実現に資する。 内容：①単位町内会等が所有する設備等の軽微な修繕等 ②単位町内会等が実施する住民の多数が参加する ・納涼祭等の交流事業 ・地域美化活動 ・運動会等のスポーツ活動 ・地域内の文化的な活動等 など ※補助率 3/4 限度額3万円 補助対象者：鳥取市自治連合会に加盟する町内会等</p> <p>【事業の成果】 平成29年度事業実施数 504町内会 14,638千円 平成30年度事業実施数 504町内会 14,710千円 令和元年度事業実施数 501町内会 14,597千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市民が、安全で安心して暮らせるまちづくりにとって、町内会組織の結束力の維持と活動の推進は欠かせないものである。今後も地域コミュニティの活性化を図り、住民と行政との協働のまちづくりが発展するよう、継続して事業を実施する。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	[KPI]支援事業数	104%	101%	99%	96%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>人口減少・少子高齢化が進行する中、町内会組織の結束力の維持や地域コミュニティの活性化を図り、安全で安心して暮らせるまちづくり事業として、継続して事業を実施する。</p>	



# 事務事業評価シート

事務事業コード	020200	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市民活動推進事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	令和元年度 ~ 令和元年度
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市市民活動の推進に関する 条例
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%	予算事業コード	01-02-01-01-12-01
予算	予算事業名	市民活動推進事業費			予算事業コード	01-02-01-01-12-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、市民活動団体等
意図 (どのような状態 にするために)	市民活動の社会的意義や重要性の認識を高め、市民活動をより一層推進する
手段 (どうするのか)	市民活動の推進に顕著な功績のあった者を表彰し、広く市民に顕彰する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 市民活動の表彰	平成29年度 市民活動の表彰	平成30年度 市民活動の表彰	令和元年度 市民活動の表彰	令和2年度 市民活動の表彰	
	年度別実績	市民活動の表彰 個人2人 団体3団体	市民活動の表彰 団体6団体	市民活動の表彰 団体2団体	市民活動の表彰 個人1人 団体1団体		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	756	763	736	731	0	
	直接経費 A	34	31	12	12	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	一般財源	34	31	12	12	0	
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	表彰する件数	単位	件	区分	目標	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			実績	5	6	2	2	0				
	(指標の説明) 評価すべき活動として表彰した件数											
	2		目標	0	0	0	0	0				
			実績	0	0	0	0	0				
	(指標の説明)											
3		目標	0	0	0	0	0					
		実績	0	0	0	0	0					
(指標の説明)												

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

<b>事務事業の実施概要</b>	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-30-8177</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【事業の経過及び背景】 ボランティア活動やNPO法人による福祉活動をはじめ、地域における市民の活動が活発となり、行政と市民活動団体との協働がまちづくりを進める上で重要となっている。 本市では、市民活動の健全な発展を図るため、「鳥取市市民活動の推進に関する条例」を施行し、本条例の中で市の責務として、市民活動促進のため市民の理解を深め、積極的な参加と協力を促すために必要な学習機会の提供を行うことや市民活動の推進に顕著な功績があった市民等を表彰することを定めている。</p> <p>【事業の目的及び効果】 市民や市民活動団体と行政による協働の取り組みを啓発し、協働による地域づくりを推進することを目的とする。その手段のひとつとして、市民活動に対する表彰を行い、市民活動団体等のモチベーション向上と市民への啓発を図ることにより、一層の市民参画と市民活動の活性化を促進するものである。</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 市民活動表彰：市民活動の推進に顕著な功績があった市民、市民活動団体を表彰する。 平成29年度 6団体(人) 31,374円 平成30年度 2団体(人) 12,044円 令和元年度 1団体(個人)1人 11,922円</p> <p>【今後の取り組み】 市民や市民活動団体と行政による協働の取り組みを啓発するため継続して実施する。</p>
------------------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	表彰する件数	50%	60%	20%	20%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>年度計画の進捗度</b>  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<b>事業の成果</b>  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	近年表彰対象者の推薦の応募が少なくなっており、周知方法や制度の検討が必要である。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>		

幅広い分野の活動を表彰することで市民活動のさらなる促進につなげていく。

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	協働のまちづくりガイドラインの策定事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	直営
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	
予算	予算事業名		85%	100%	予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民等
意図 (どのような状態 にするために)	協働のまちづくりを推進し、ニーズに則した効果的な行財政運営を行う
手段 (どうするのか)	協働のまちづくりガイドラインを策定し、適切に運用する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別計画	協働のまちづくりガイドラインの検討	協働のまちづくりガイドラインの検討	協働のまちづくりガイドラインの検討	協働のまちづくりガイドラインの運用	協働のまちづくりガイドラインの運用
年度別実績	協働のまちづくりガイドラインの検討、関係団体等との意見交換	まちづくり協議会と地区公民館を対象としたアンケート調査、意見交換	地域組織のあり方検討フィールドワーク2地区各5回	地域組織モデル支援事業一括交付金を試行3地区			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,888	2,928	2,897	2,876	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	2,888	2,928	2,897	2,876	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	協働のまちづくりガイドラインの検討	目標	0	0
	(指標の説明)	実績	0	0	0	1	0	
2		目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	
3		目標	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)	実績	0	0	0	0	0	

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 協働のまちづくりを推進し、ニーズに則した効果的な行財政運営を行うため、協働のまちづくりガイドラインを策定し、適切に運用する。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度に実施したアンケートや意見交換の結果を踏まえ、平成30年度はモデル地区(宮下、佐治)で地域組織のあり方検討フィールドワークを開催した。令和元年度は3地区(明治、用瀬、佐治)で、まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織の一体化と、関連補助金の一括交付を実施した。 協働のまちづくり推進本部会議において、本市の制度や支援のあり方の検討を並行して行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 一括交付の成果の検証とその周知を行い、一括交付を希望する地区への支援等を推進する。また、地域の実情に即した地域コミュニティのあり方について検討を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	協働のまちづくりガイドラインの検討				100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成30年度に実施したモデル地区とのフィールドワークやフォーラム等の結果を踏まえ、令和元年度は、希望される地域において、まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織の一体化を推進し、補助金の一括交付を3地区で実行した。その事業実績の効果を検証し、他地区へも周知を行う。また、地域の実情に即した地域コミュニティのあり方、コミュニティの支援制度について検討を進めていく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地区公民館の活用の基本方針の策定事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成27年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	直営
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民等
意図 (どのような状態 にするために)	地区公民館の活用策と今後のあり方を見直し、地域コミュニティ活動の充実・強化で市民サービスの向上を図る。
手段 (どうするのか)	地区公民館の活用の基本方針を策定し、適切に運用する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		地区公民館の活用の基本方針の検討	地区公民館の活用の基本方針の検討	地区公民館の活用の基本方針の検討	地区公民館の活用の基本方針の運用	地区公民館の活用の基本方針の運用	
年度別計画							
年度別実績		地区公民館の活用の基本方針の検討、関係団体等との意見交換	まちづくり協議会と地区公民館を対象としたアンケート調査、意見交換	地域組織のあり方検討フィールドワーク2地区各5回	地域組織モデル支援事業一括交付金を試行3地区		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,888	2,928	2,897	2,876	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	2,888	2,928	2,897	2,876	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.40	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	地区公民館の活用の基本方針の検討		目標	0	0	0	1	1
				実績	0	0	0	1
(指標の説明)								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と運動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算(予算事業別概要なし)</p> <p>【事業の概要】 協働のまちづくりを推進し、ニーズに則した効果的な行財政運営を行うため、協働のまちづくりガイドラインを策定し、適切に運用する。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度に実施したアンケートや意見交換の結果を踏まえ、平成30年度はモデル地区(宮下、佐治)で地域組織のあり方検討フィールドワークを開催した。令和元年度は3地区(明治、用瀬、佐治)で、まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織の一体化と、関連補助金の一括交付を実施した。 協働のまちづくり推進本部会議において、本市の制度や支援のあり方の検討を並行して行った。</p> <p>【今後の課題・方向性】 一括交付の成果の検証とその周知を行い、一括交付を希望する地区への支援等を推進する。また、地域の実情に即した地域コミュニティのあり方について検討を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地区公民館の活用の基本方針の検討				100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>平成30年度に実施したモデル地区とのフィールドワークやフォーラム等の結果を踏まえ、令和元年度は、希望される地域において、まちづくり協議会と公民館運営委員会の組織の一体化を推進し、補助金の一括交付を3地区で実行した。その事業実績の効果を検証し、他地区へも周知を行う。また、地域の実情に即した地域コミュニティのあり方、コミュニティの支援制度について検討を進めていく。</p>	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020501	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地区公民館整備事業(新築)		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	直営
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名	地区公民館新築事業費		予算事業コード	01-09-04-16-11-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	地区公民館
意図 (どのような状態 にするために)	生涯学習及び地域コミュニティの活動拠点として、施設の老朽化及び時代のニーズや地域社会の変化に対応した地区公民館整備を行うため。
手段 (どうするのか)	地区公民館の建替えを行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		年度別実績	中郷地区公民館新築 西郷地区公民館新築 小鷲河地区公民館新 築設計、旧小鷲河小学 校プール解体工事	小鷲河地区公民館新 築工事 日置谷地区公民館新 築工事 西郷地区公民館新築 工事(繰越)、駐車場 整備工事 津/井地区公民館新 築設計	津/井地区公民館新 築工事 城北地区公民館新築 設計 成器地区公民館新築 設計	城北地区公民館新築 工事 成器地区公民館新築 工事	城北地区公民館新築 に係る地盤変動影響調 査(事後調査)
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	237,874	418,745	211,477	593,614	0	
	直接経費 A	234,264	415,085	207,855	590,019	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	15,842	10,625	17,303	0
		地方債	210,300	359,300	167,000	529,700	0
		その他	0	8,555	4,469	0	0
一般財源	23,964	31,388	25,761	43,016	0		
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	地区公民館新築工事	館	目標	3
	(指標の説明)		実績	2	3	1	2	0
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地区公民館係 0857-30-8178</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P49（地015）</p> <p>【事業の概要】 地区公民館を新築することにより、現状の課題を解消し、生涯学習及び地域コミュニティの拠点施設として充実を図ることを目的としている。</p> <p>【事業の成果】 城北地区公民館新築工事、成器地区公民館新築工事を実施した。 平成29年度 340,996千円 平成30年度 207,855千円 令和元年度 590,019千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 年次計画により、引き続き地区公民館の整備を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地区公民館新築工事	67%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も計画的な施設更新により、地域コミュニティの拠点を維持していく。</p>		





5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 地区公民館係 0857-30-8178</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P48（地014）</p> <p>【事業の概要】 地区公民館の改修を行うことで、地域住民が気軽に集い、生涯学習事業や地域コミュニティ活動が円滑に実施できる環境を整えることを目的としている。</p> <p>【事業の成果】 旧日置谷地区公民館解体設計業務、旧小鷲河地区公民館解体設計業務、旧津ノ井地区公民館解体工事を実施した。 平成29年度 該当なし 平成30年度 14, 217千円 令和元年度 33, 294千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 年次計画により、引き続き地区公民館の整備を進めていく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地区公民館改修・解体工事	100%		50%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>計画的な施設更新により、地域コミュニティの拠点施設として維持していく。併せて、ユニバーサルデザイン化を進めて機能を高めていく。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	町内集会所建設等補助事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	鳥取市町内会集会所新築等補助金交付規則
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
地区公民館の耐震化率			85%	100%	予算事業コード	01-02-01-11-10-01
予算	予算事業名	町内集会所建設等補助金			予算事業コード	01-02-01-11-10-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	町内会集会所
意図 (どのような状態にするために)	町内会の会合やイベントに利用する集会所を整備することにより、地域コミュニティの醸成を図り、地域の活性化を促進する
手段 (どうするのか)	町内会が実施する集会所の整備等に対し補助金を交付する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
		補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受付、審査の実施	補助金交付にあたり 制度の広報、申請の受付、審査の実施
年度別実績		27件 (内訳) 新築 3件 修繕 17件 賃借 4件 エアコン新設 3件	30件 (内訳) 新築 2件 修繕 13件 賃借 4件 エアコン新設 11件	31件 (内訳) 新築 5件 修繕 15件 賃借 3件 エアコン新設 8件	30件 (内訳) 新築 2件 修繕 15件 賃借 3件 エアコン新設 10件	
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
	事業費(A+B)	37,123	21,060	41,215	19,626	0
	直接経費 A	34,957	18,864	39,042	17,469	0
	直接経費の内訳					
	国・県	0	0	0	0	0
地方債	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
一般財源	34,957	18,864	39,042	17,469	0	
人件費 B	2,166	2,196	2,173	2,157	0	
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	集会所新築等補助件数	件	目標	18	18	18	18	18
				実績	27	30	31	30
(指標の説明) 本補助金を利用して町内会集会所の整備等を実施する件数								
2			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 市民活動係 0857-30-8177</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P48（地013）</p> <p>【事業の概要】 集会所（町内会の集会施設）については、自治会が自主的に建設（取得）している。本事業はコミュニティ活動の基盤となる集会所建設を支援するため、平成3年度から実施している。平成20年度からは集会所施設の賃借料、平成27年度からは新規に冷暖房設備を設置する場合も補助対象としている。 町内会のコミュニティの場である集会所の建設や改修に対して助成することにより、地域コミュニティの醸成を図ることで、地域の活性化を促進する。</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 18,864千円（新築2件、改築等13件、賃借4件、冷暖房施設新規整備11件 計30町内会） 平成30年度 39,042千円（新築5件、改築等15件、賃借3件、冷暖房施設新規整備8件 計31町内会） 令和元年度 17,469千円（新築2件、改築等15件、賃借3件、冷暖房施設新規整備10件 計30件（29町内会））</p> <p>【今後の課題・方向性】 地域コミュニティ活動の活性化、拠点となる施設確保のため継続して事業を行う。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	集会所新築等補助件数	150%	167%	172%	167%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>地域コミュニティの活動拠点となる集会所の整備は協働のまちづくりを推進していくためにも継続して支援していく必要がある。なるべく町内会の要望に添えるよう、新たな仕組みづくりも検討していく必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	殿ダム対策事業		所属名	都市整備部	都市環境課

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成26年度 ~ 令和5年度
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	殿ダム対策費		予算事業コード	01-07-01-14-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	殿ダム水源地域集落、団体及び事業推進団体
意図 (どのような状態 にするために)	「殿ダム水源地域ビジョン」に基づき、豊かな自然環境の保全とダムを地域資源とする魅力的な地域づくりを推進する。
手段 (どうするのか)	ダム湖の新たな緑水空間と自然環境を活用した水源地域の活性化対策を計画的に推進する。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金 6団体
年度別計画							
年度別実績		水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金交付 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金交付 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金交付 6団体	水源地域等活性化対策 ・殿ダム水源地域等対策 事業補助金交付 6団体		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,579	21,445	22,338	25,213	0	
	直接経費 A	18,969	17,785	18,716	21,618	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	2,975	2,860	3,791	6,554	0
一般財源	15,994	14,925	14,925	15,064	0		
人件費 B	3,610	3,660	3,622	3,595	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				事業箇所数及び活性化対策地区数	地区	目標	6	6
1	(指標の説明)	実績		6	6	6	6	0
		目標		0	0	0	0	0
2	(指標の説明)	実績		0	0	0	0	0
		目標		0	0	0	0	0
3	(指標の説明)	実績		0	0	0	0	0
		目標		0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 管理係 0857-30-8341</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P189（都024）</p> <p>【事業の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・水源地域等対策事業補助金 目的：ダム周辺地域の発展を図る 内容：殿ダム水源地域及び集落等が行うまちづくり事業等に要する経費に対する補助 補助対象者：国府町大茅地区、成器地区の集落及び団体、並びに殿ダム水源地域整備事業を促進する団体</li> <li>・殿ダム周辺広場の維持管理（指定管理）</li> <li>・殿ダム周辺施設整備</li> </ul> <p>【事業の成果】 水源地域等対策事業補助金、殿ダム周辺広場指定管理料、施設整備費 平成29年度 17,785千円 平成30年度 18,716千円 令和元年度 21,618千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 ビジョンに基づいた推進施策等を継続的に実施し、観光、活性化資源としてのダム周辺の有効活用を進める必要がある。殿ダム「因幡万葉湖」を地域資源とした殿ダムウォーキングや野外音楽祭の開催など、新たな魅力創出につながる持続的な活動を通して地域の更なる活性化を図る。</p> <p>※その他財源の財産収入は、殿ダム水源地域対策基金積立金利子。 ※その他財源の繰入金は、殿ダム水源地域対策繰入金。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	事業箇所数及び活性化対策地区数	100%	100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>殿ダム水源地域ビジョンの基本方針に基づいた行動計画の持続的な展開のため、殿ダム・因幡万葉湖を観光資源とした地域活性化を山陰海岸ジオパークと連携しながら推進する必要がある。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	020800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域振興会議運営事業		所属名	市民生活部 地域振興課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成27年度 ~ 令和6年度
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	地域振興会議条例
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	直営
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%	予算事業コード	01-02-01-07-53-01
予算	予算事業名	地域振興会議運営費				

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	・ 新市域（鳥取地域を除く旧8町村）
意図 (どのような状態にするために)	・ 各地域の資源や特性を活かした更なる地域活性化 ・ 本市の一体的な発展に資する対象区域の振興 ・ 地域課題を地域ぐるみで解決していく、協働のまちづくりの視点の継承
手段 (どうするのか)	・ 地域振興会議を設置し地域振興施策等への地域意見の反映 ・ 新市まちづくり計画の進捗管理

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画	地域振興会議の開催 地域振興会議会長の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長の開催 地域振興会議合同会議の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長の開催 地域振興会議合同会議の開催	地域振興会議の開催 地域振興会議会長の開催	
	年度別実績	地域振興会議 延べ63回開催(うちプロツク会議3回) 会長会 2回開催(8月、2月)	地域振興会議 延べ62回開催(うちプロツク会議3回) 会長会 2回開催(8月、2月) 合同会議1回開催	地域振興会議 延べ63回開催(うちプロツク会議3回) 会長会 2回開催(8月、2月)	地域振興会議 延べ63回開催(うちプロツク会議2回) 会長会 2回開催(8月、2月) 合同会議1回開催		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,446	6,441	6,127	6,072	0	
	直接経費 A	4,724	5,709	5,403	5,353	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	4,724	5,709	5,403	5,353	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	1	各委員出席率	%	目標	80	80	80	80	80
				実績	84.2	85.1	81.7	83.7	0
	(指標の説明) 地域振興会議での各委員の出席率(平均)								
2				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0	0
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 振興係 0857-30-8172</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別該当目次：当初予算・P45（地007）</p> <p>【事業の概要】 平成26年度末をもって終了した地域審議会に代わり、本市の一体的な発展に資する対象区域（新市域）の振興を図るため、8地域（新市域）に地域振興会議を設置。</p> <p>【事業の成果】 地域審議会 8地域延べ605回、地域審議会会長会 合計23回（H16～H26） 地域振興会議、会長会の開催</p> <p>1. 地域振興会議 8地域の地域振興会議を概ね年8回開催。 平成29年度：62回（うちブロック会議3回） 平成30年度：63回（うちブロック会議3回） 令和元年度：63回（うちブロック会議2回）</p> <p>2. 会長会 8地域の地域振興会議の連絡及び情報交換を行うとともに、本市の一体的な発展を目指す立場で市長と意見交換を行うため、会長会を年2回開催。（8月、2月） 平成29年度：2回 平成30年度：2回 令和元年度：2回</p> <p>【今後の課題・方向性】 各地域の資源や特性を活かした更なる地域活性化を図るため、引き続き設置・開催していく。 （令和6年度末まで）</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	各委員出席率	105%	106%	102%	105%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%～150%未満:上回る」、「80%～100%以下:目標どおり」、「50%～80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント          (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>各地域の資源や特性を活かした更なる地域活性化および本市の一体的な発展に資する新市域の振興を図るために設置されており、継続して開催していく。</p>		



# 事務事業評価シート

事務事業コード	036400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	雪害対策事業(仮称)		所属名	危機管理部 危機管理課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	建設、整備
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	直営
	アクティブとっどりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名			予算事業コード		

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内で雪害が発生又は発生するおそれのある場合に区域内にいる市民及び関係機関
意図 (どのような状態 にするために)	大雪等による災害を未然に防止するとともに、市民生活及び地域経済に及ぼす影響の最小化を図る。
手段 (どうするか)	積雪前の時期に大雪等における市民生活に及ぼす影響の最小化について多角的な視野で検証や意見交換を行い市民の安全と安心に繋げることを目的とした「雪に対する安全で安心な市民生活連絡会」を開催する。 鳥取市積雪対応指針に基づき庁内の組織体制の確立、関係機関との連携により適切な除雪対策を講じる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画		雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の策定	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の検証による見直し	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の検証による見直し	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の検証による見直し	
	年度別実績		雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の策定	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の改訂	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催 鳥取市積雪対応指針の改訂		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	7,319	7,243	7,190	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	0	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	1	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催	回	目標	0	0	1	1	1
				実績	0	0	1	1	0
	(指標の説明)								
	2		目標		0	0	0	0	0
			実績		0	0	0	0	0
	(指標の説明)								
3		目標		0	0	0	0	0	
		実績		0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 防災支援係 0857-30-8034</p> <p>【10次総の施策体系】 4101</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>【事業の概要】 毎年、積雪前に、市及び市民生活に関係する各種団体・機関で組織する「雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議」を開催し、大雪等における市民生活に及ぼす影響の最小化について多角的な視野で検証や意見交換を行い、市民の安全と安心に繋げる。 それに伴い、平成29年策定の「鳥取市積雪対応指針」についても見直し作業を行う。</p> <p>【事業の成果】 令和元年11月22日 雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議開催 令和元年11月 鳥取市積雪対応指針改定</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、毎年、各種団体・機関と連携し連絡会議を開催するとともに、実体に即した見直しや改善を行い鳥取市積雪対応指針に反映させていくものとする。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	雪に対する安全で安心な市民生活連絡会議の開催			100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	当初計画どおり、市民生活連絡会議を開催した。
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	当初計画どおり、市民生活連絡会議を開催した。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>毎年、各種団体・機関と連携し連絡会議を開催するとともに、実体に即した見直しや改善を行い鳥取市積雪対応指針に反映させていくこととする。</p>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	036500	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域コミュニティ除雪活動支援事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

## 1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	30	地域に活気があるまち		事業期間	平成29年度 ~ 全期
	政策	01	協働のまちづくり		根拠法令、 根拠計画等	
施策	3101	協働のまちづくりの推進				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	市民活動に参加したことがある市民の割合(H26年度:70.7%)		0%	75%	運営方法	補助金交付
	アクティブとっりの市民活動団体登録数		190団体	210団体	会計区分	一般会計
	地区公民館の耐震化率		85%	100%		
予算	予算事業名	地域コミュニティ除雪活動支援事業費		予算事業コード	01-02-01-11-06-17	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	町内会等
意図 (どのような状態 にするために)	大雪時に行う生活道路等の除雪活動に伴う負担軽減のため
手段 (どうするのか)	地域が自主的に取り組む除雪活動に係る経費の一部を支援する

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画		大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	大雪時に地域が自主的に取り組む除雪活動の支援	
	年度別実績		町内会数 833 申請数 272	町内会数 833 申請数 55	町内会数 831 申請数 45		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	0	0	1,452	1,143	0	
	直接経費 A	0	0	728	424	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	241	101	0
		地方債	0	0	0	100	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	487	223	0		
人件費 B	0	0	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
活動指標	1	地域の除雪活動を継続して支援する		目標	0	1	1	1	1	
				実績	0	1	1	1	0	
	(指標の説明)									
	2				目標	0	0	0	0	0
					実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)									
3				目標	0	0	0	0	0	
				実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)										

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P47（地012）</p> <p>【事業の概要】 大雪時に町内会等が生活道路確保のため自主的に除雪活動を行うに当たり、その経費の一部を支援することで、地域コミュニティ活動の下支えを行うとともに、市民との協働による除雪対策の一助とする。        &lt;発動条件&gt; 鳥取市（北部または南部）に大雪注意報が発表されたとき        &lt;補助対象経費&gt; 町内会等が自主的に行う除雪活動に係る経費（燃料費、除雪委託料など）        &lt;補助率等&gt; 補助対象者 鳥取市自治連合会に加盟する各町内会 補助率 3/4、補助限度額 5万円</p> <p>【事業の成果】 平成29年度 272町内会 平成30年度 55町内会 令和元年度 45町内会</p> <p>【今後の課題・方向性】 令和元年度は降雪量が少なく、申請が少なかった。今後もニーズを見極め、必要に応じて制度の見直しを図る。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	地域の除雪活動を継続して支援する		100%	100%	100%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度  <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果  <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	補助対象者や補助対象経費の見直しなど、今後もニーズを見極め、必要に応じて制度の見直しを図る。		
担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small>			